

# 外国人看護師候補生合格までの道のり



平成25年6月11日

山口リハビリテーション病院

看護部長 三輪 絹代



**山口県**  
高齡化率

全国 4位

出生率

全国 4位

**山口市**

人口

194,550人

(2013年5月1日)

高齡化率

23.8%

**ゆるキャラ**

**ちよるる**

全国 2位



# 関連グループ

医療法人 和同会・清和会(病院・老人保健施設・ディケアセンター他)

## 病院

吉南病院	371床
片倉病院	229床
防府リハビリテーション病院	421床
宇部リハビリテーション病院	435床
宇部西リハビリテーション病院	345床
山口リハビリテーション病院	180床
広島シーサイド病院	330床
広島グリーンヒル病院	300床
広島パークヒル病院	100床

## 老人保健施設

山口幸楽苑	100床
防府幸楽苑	100床
宇部幸楽苑	100床
五日市幸楽苑	100床
西広島幸楽苑	130床
秋穂幸楽苑	50床

## ディケアセンター 外

病院・老健ディケアセンター	12ヶ所	691
ショートステイ	5ヶ所	78
認知症高齢者グループホーム	5ヶ所	90
宇部西在宅総合支援センター		80
精神障害者福祉ホーム		20
精神障害者 居宅生活支援事業		10
生活支援ハウス	2カ所	25

計 4,285

# 山口リハビリテーション病院



## 看護配置

回復期1	看護師	13対1	看護補助者	30対1	2交代勤務
回復期2	看護師	15対1	看護補助者	30対1	
医療療養	看護師	20対1	看護補助者	20対1	

## 診療科目

内科  
神経内科  
整形外科  
リハビリテーション科  
小児科  
循環器科  
放射線科  
胃腸科  
歯科

病床数 180床  
(回復リハビリ病棟 94床)  
(医療療養病棟 86床)

# 本日の話

- 受け入れ理由
- 受け入れから合格までの流れ
- 合格に向けての受け入れ支援体制
- モチベーション維持のための工夫
- 当院で感じたインドネシア人・フィリピン人の特性
- 現場のスタッフの意見
- 今後の課題
- 実際の学習内容は教育師長が説明

# 受入理由 (1)

**当初**⇒人材確保を目的とする

採用事情：新人看護職員1～3名

中途採用者 約10名

EPA看護師：合格後就労可能



(病院)

2008年 **インドネシア人看護師候補者 2名**

(老人保健施設)

2009年 **インドネシア人介護福祉士候補者2名**

2010年 **インドネシア人介護福祉士候補者2名**

**合格後 帰国 (1名合格・1名不合格)**

## 受入理由(2)

現在⇒和同会理事長の指示

国際貢献を目的とする



2011年雇用締結

フィリピン人看護師候補者 4名

\* 2012年12月一時帰国後⇒2013年1月退職

\* 合格者2名 ジーンさん・ジョイスさん

\* 不合格者1名

# 外国人看護師候補生受入れ・合格までの経過

## 平成20年度 受入れインドネシア候補者

2008年5月	求人登録申請 候補者情報
6月	⇒紙ベース(顔写真等なし)
7月	マッチング 雇用契約の締結
8月	日本入国
8月～2月	日本語研修 (6ヶ月)
	日本語 675時間
	社会文化適応 141時間
	計 816時間
2009年	
2月13日	就労開始 メリさん ガマさん 1週間後に受験
2009年2月	1回目 国家試験 不合格
2010年2月	2回目 国家試験 不合格
2011年2月	3回目 国家試験 2名受験 ガマさん合格

## 平成23年度 受入れフィリピン候補者

2010年12月	求人登録申請
2011年1月	候補者情報 ⇒写真、ビデオクリップ付 本人のイメージが分かりやすい
2月	マッチング
4月	雇用契約の締結
5月	日本国入国
6月～11月	日本語研修 (6ヶ月)
	日本語 720時間
	社会文化適応 102時間
	計 822時間
11月17日	就労開始 4名 約3ヶ月 試験勉強
2012年2月	1回目 国家試験 不合格
2013年1月	1名帰国
2月	2回目 国家試験 3名受験 ジーンさん・ジョイスさん 2名合格

入国前  
日本語の研修  
約 3ヶ月

# 合格に向けての受け入れ支援体制

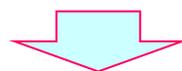
## 1 基本的な組織体制

①日本語の  
継続学習



日本語講師  
事務職員

②専門科目の  
学習



専門学校  
看護部長  
教育師長  
師長

③職場の適応  
生活習慣の習得



病棟スタッフ  
事務職員  
看護部長  
教育師長

# 合格に向けての受け入れ支援体制

## ①日本語の継続学習

### インドネシア

- 外部講師（日常会話・漢字専門講師）各2時間/週
- 日本語講座の参加・日本語ボランティアとの交流を通して日本の文化を理解する。毎日の日記、漢字ノート1ページ
- 事務職員 国際厚生事業団テキストほか

初めての受け入れにより職員も手探りで、日本語の習得にかなりの時間を要した。

### フィリピン

- 外部講師（日常会話・漢字専門講師）各2時間/週
- 日本語講座の参加・日本語ボランティアとの交流を通して日本の文化を理解する。毎日日記を書く
- 事務職員 国際厚生事業団テキストほか

# 合格に向けての受け入れ支援体制

## ②看護師国家試験受験のための学習

### インドネシア

- 前例がないままに学習をスタートした。まず教育師長を中心に毎日、日本語・国家試験の過去問を学習。特に必修問題を中心に行う。又事務長も協力、状況設定問題のイメージづくりを行う。
- 2年目より師長も分野毎の学習支援を行う。
- 看護専門学校への通学
- 集合研修の参加
- 在宅看護の実習
- 緩和ケア病棟の実習
- Eラーニング（過去問題・専門用語）

# 合格に向けての受け入れ支援体制

## ②看護師国家試験受験のための学習

### フィリピン

- 分野別担当看護師が学習支援を行い、理解度や能力を確認。
- 看護専門学校への通学は必要科目を優先してほぼ毎日。
- 看護業務の実践についての理解（看護記録、処置、カンファレンス）
- 国家試験合格者報告会の参加
- 集合研修の参加
- E-ラーニング（オンデマンド講義・過去問題・skype個別指導の活用）

# 合格に向けての受け入れ支援体制

## ③職場適応・生活習慣の習得

### インドネシア

#### 職場

- 午前だけの勤務、2名共同病棟に介護職員として配置。主任を中心に介護業務の教育を行う。（オムツ交換・入浴介助・シーツ交換）
- 申し送りの聞き取り、その後、教育師長が聞き取り状況の確認。
- 教育師長が常に付き添い、患者さんとのコミュニケーションのやり取りを見守る。

#### 私生活

- 病院に併設された寮を使用。各部屋一人、台所・風呂共同。
- 台所の常設備（冷蔵庫・電磁調理器等）以外は準備(炊飯器等)。
- 当面生活に必要な費用は準備をした。
- 洋式トイレへの改修、インターネットの接続準備。
- 2名共キリスト教信者であり定期的に大阪教会へ礼拝していた。

# 合格に向けての受け入れ支援体制

## ③職場適応・生活習慣の習得

### フィリピン

#### 職場

- 各病棟に1名ずつの配置。プリセプターによる業務指導を行う
- 午前だけの勤務であるが、専門学校への通学の為、実際は週に1～2回程度の出勤であった。
- 申し送りの参加、入浴介助、おむつ交換、バイタルサインのチェック

#### 私生活

- 病院に併設された寮を使用。各部屋一人、台所・風呂共同。
- 4名共キリスト教信者だが、宗派の違う1名は毎木・日曜日教会礼拝（電車で片道2時間）
- バスでの移動が可能であり休日は自由にショッピングを楽しむ。
- 寮生は全員外国人で、インドネシア人3名、フィリピン人4名での生活。

# モチベーション維持のための工夫

事あるごとに意思  
の確認をする

合格する  
日本で働く



- ・ 学習ができる環境
- ・ 家族・友達との通信ができる環境
- ・ 長期休暇の確保

- ・ 職員全員が温かく迎える
- ・ 日本の文化に触れる
- ・ 施設の行事に参加させて気分転換をさせる
- ・ いつでもサポートができる態勢



# 私生活



自室の壁に  
漢字をぎっしり  
と掲示している



## 桜の花見



全員インドネシア人です



## 民族衣装の披露



学習支援の師長と最後の別れ



着物が似合います



浴衣姿も素敵



りんご狩り



# 当院で感じたインドネシア人・フィリピン人の特性



性格	インドネシア人	フィリピン人
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく、素朴で人懐っこい。</li> <li>・あまり感情を表に出さず、物腰が柔らかく素直である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく人懐っこいが一線を置いた所がある。</li> <li>・感情は素直に表現できる。</li> <li>・プライドが高い</li> </ul>
コミュニケーション 学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書を片手に会話。簡単な会話で80%位理解できる。</li> <li>・与えられた時間内での学習のみで、自分の時間(就業時間外や休日など)での自己学習はしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来院当初より会話がある程度可能であった。</li> <li>・勤勉で、予習、復習が出来る。</li> <li>・毎日遅くまで自己学習をする姿勢がある。</li> </ul>
勤務態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作がゆっくりであるがベッドメイキングは几帳面であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事の覚えは早いですが、少し雑な面がある。真面目である。ほとんど休むことがない。</li> </ul>

# 当院で感じたインドネシア人・フィリピン人の特性

## 人付き合い

インドネシア人	フィリピン人
<ul style="list-style-type: none"><li>・人間関係は細やかな心遣いができる。とても気を遣い、控えめで、言いたい事を言わない。</li><li>・ナシゴレンなどのインドネシアの郷土料理を大勢のスタッフに振る舞うなど、とても気を遣う一面がある。</li><li>・挨拶がきちんとできる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・社交性があり、積極的で明るい。</li><li>・甘え上手でユーモアがある。</li><li>・お願い、お礼は神様にすることで人に対しての感謝(お礼)が言えなかった。頭を下げるなどの習慣がないため、とても違和感を感じていた。</li></ul>

## お金の用途

<ul style="list-style-type: none"><li>・余暇を楽しみ自分のための貯蓄をする。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・自分の為には使わない。家族に送金をするのがとても楽しみで家族の為にお金を使う。</li></ul>
---	--

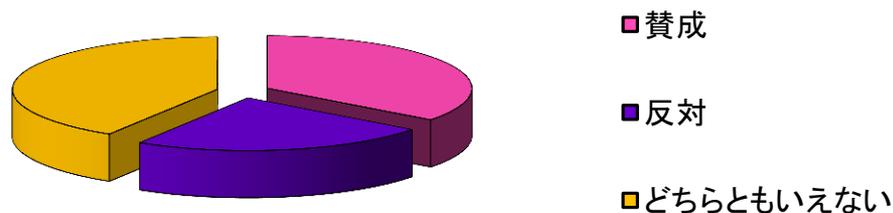
## 共通点

<ul style="list-style-type: none"><li>・明るく真面目である。</li><li>・お互いを思いやり、プライバシーを守る。</li><li>・家族を大切にす</li></ul>
---

# 現場のスタッフの意見

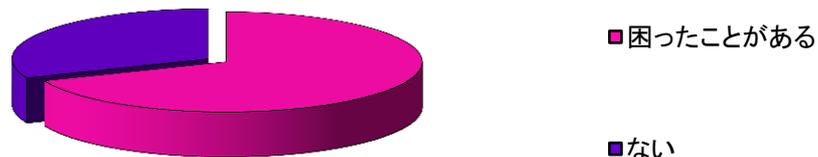
インドネシア看護師候補生  
2009年実施 配置病棟18名

## 1) 当院に外国人看護師候補の受入れについて



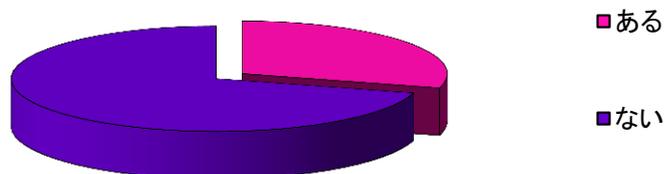
1、反対ではないがもう少し日本の言葉を覚えて来られたら良い。業務を覚える以前に言葉、物品の説明に時間を多く取った。

## 2) コミュニケーションに困ったことがある



2、病棟での勤務時間が短いため十分な指導が出来ない。

## 3) 文化の違いを感じたことがある

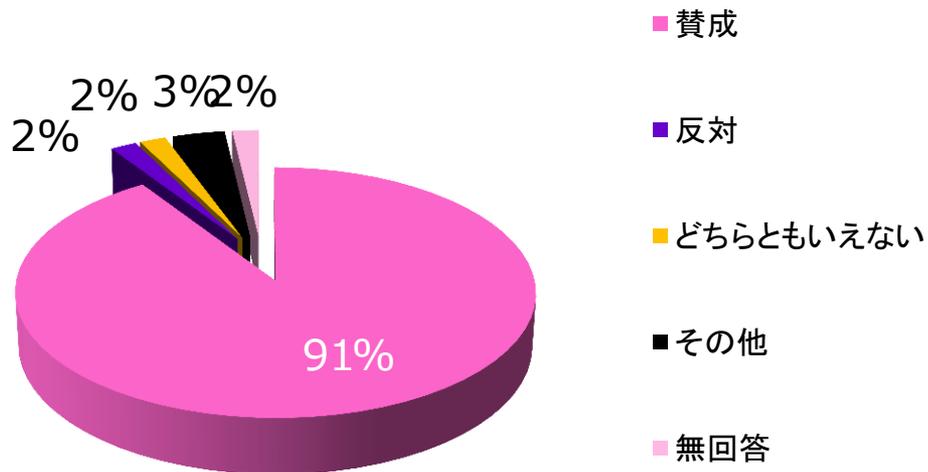


3、良く気遣いが出来、性格もとても良い。

4、入浴介助、ベットメイキング配膳、洗面介助は、安心して任せられる。

# フィリピン看護師合格者に対して 2013年5月実施 対象:病棟職員54名

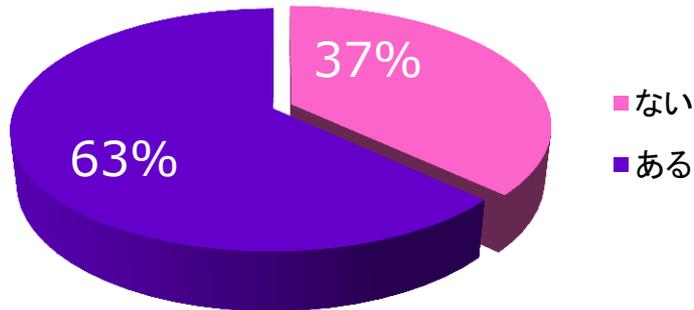
## 1)外国人看護師候補者の受け入れに対して 賛成か反対か



《賛成の意見》	
・異文化交流が出来て良い。	14人
・一生懸命頑張っている姿を見て いると刺激になる。	11人
・看護師不足の改善になる。合格して 一緒に仕事をしてくれるのであれば 賛成。	5人
・良い事だと思う。	3人
・その他	3人

《反対の意見》	
・時間をかけて育成に協力しても、結局は 母国へ帰国するのではないかと 思うと空しくなる。	
・合格してもすぐ帰国してしまう。	
・患者、スタッフ間でのコミュニケーションに 問題がある。	

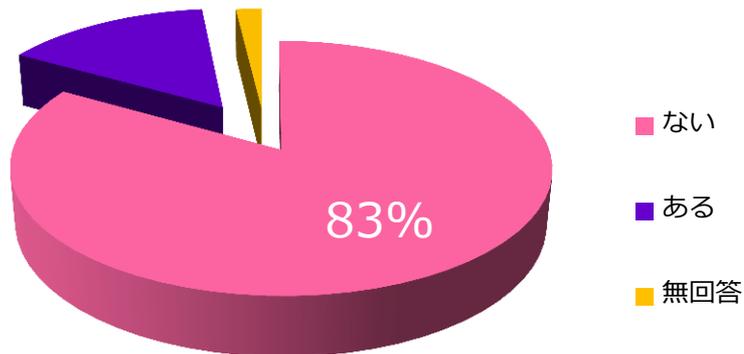
## 2) コミュニケーションを図るときに困った事があるかないか



### 《困った事とはどんな時ですか？》

- ・日本語が通じない。説明に時間がかかる。
- ・分かっていなくても「はい」と返事をする。
- ・処置の際など、医療用語をなかなか上手く伝えることが出来なかった。
- ・言葉の難しさ。発音によっていろいろ違うから  
(箸:はし 橋:はし 端:はし)

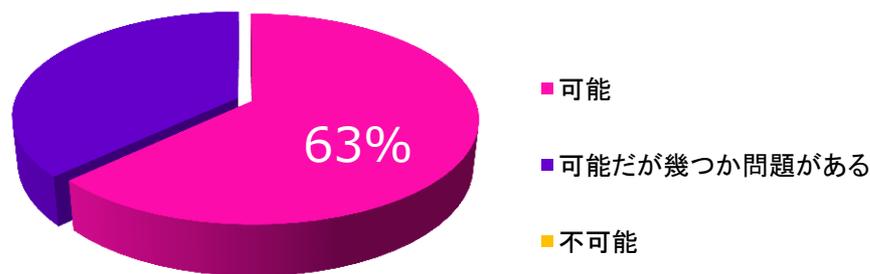
## 3) 文化の違いを感じたことはあるか・ないか



### 《文化の違いを感じた時はどんな時ですか？》

- ・食事の内容を聞いたりした時
- ・給料のほとんどを親に仕送りしている事など
- ・家族への思い。
- ・宗教感(週末ミサ・毎週の礼拝)やクリスマスの過ごし方。

#### 4) 外国人看護師候補者が日本の看護師国家試験に合格し、実際に現場で働く事は可能か



- ・日本語による指示の理解に不安を感じる為、点滴実施一つでも患者の体内に薬を入れる行為は慎重を要す。
- ・日勤業務はほぼ可能と思われるが、夜勤を1人でする場合、言葉がどこまで理解でき、患者の訴えが分かるかドクターの指示を正確に受けることが出来るのか不安である。

#### 5) 看護師国家試験に合格をした外国人看護師候補者が、当院で夜勤を開始するとしたらどのようなになったら開始ができると思いますか？

- ・日勤業務(検温、記録、処置など)をしっかり覚え、スムーズに行えるようになってから。
- ・業務内容を把握することが出来てから。
- ・書き物、コミュニケーションが上手く出来るようになってから。
- ・看護師2名夜勤なら可能。

# 今後の課題

## 国への要望

- EPAとしての支援体制の強化（看護学校に通学させる）
- 施設の負担金の軽減
- 受け入れ前の日本語教育の強化
- 合格後日本で働く意思があるのか確認をしっかりとってから来日させる
- 看護師免許取得者は、帰国しても再度日本ですぐに就労ができる制度を希望

## 施設の対応

- 日本で働きたい気持ちを持続させる
- 施設全体で温かく迎える
- 看護師国家試験に合格させる強い意志を施設側が持ち続ける